

原子力被災者等との健康についての コミュニケーションにかかる有識者懇談会 開催要綱

1. 趣 旨

東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故により、原子力被災者をはじめ、国民全般が、放射線による健康影響等に不安を感じている状況にある。こうした状況への対応について、幅広い分野の有識者の方々に議論をしていただき、その参考とするため、環境大臣の私的懇談会として、「原子力被災者等との健康についてのコミュニケーションにかかる有識者懇談会」を設置する。

2. 名 称

本会合は、「原子力被災者等との健康についてのコミュニケーションにかかる有識者懇談会」（以下、「懇談会」という。）と称する。

3. 検討内容

懇談会構成員の方々のこれまでの活動や体験等について紹介いただくとともに、放射線の健康への影響にまつわる不安や住民の声について、また情報発信・共有のあり方等について議論をしていただく。

4. 構成員

別紙のとおり。

5. 運 営

- (1) 座長は、懇談会を招集し、主宰する。
- (2) 座長は、あらかじめこれを代行する者を指名し、座長に事故があるときは、その者がその職務を代行する。
- (3) 座長は、必要に応じ、構成員以外の有識者に出席を求めることができる。
- (4) 会合は、原則公開とする。

6. 庶 務

懇談会の庶務は、環境省総合環境政策局環境保健部において行う。

原子力被災者等との健康についてのコミュニケーションにかかる

有識者懇談会

委員名簿

(敬称略 五十音順)

安齋 育郎	立命館大学名誉教授 安齋科学・平和事務所／所長
影浦 峽	東京大学大学院教育学研究科教授
神谷 研二	広島大学原爆放射線医科学研究所長 福島県立医科大学副学長（非常勤）
島田 義也	放射線医学総合研究所発達期被ばく影響研究プログラムリーダー
祖父江 友孝	大阪大学大学院医学系研究科環境医学教授
高橋 祥友	筑波大学医学医療系教授（災害精神支援学）
高村 美春	福島県南相馬市の「花と希望を育てる会」代表 「つながろう南相馬!」, NPO 法人実践まちづくりで活動
田中 秀一	読売新聞社会保障部長
坪倉 正治	南相馬市立総合病院内科・血液内科 医師
鳥越 俊太郎	ジャーナリスト 一般社団法人CSRプロジェクト会長
長瀬 重信	長崎大学名誉教授 元（財）放射線影響研究所理事長
中谷内 一也	同志社大学心理学部教授
藤原 佐枝子	公益財団法人広島原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター副所長
前川 和彦	東京大学名誉教授 ツル虎ノ門外科・リハビリテーション病院院長